



週間情報



No.0748

発行日 令和7年12月16日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-4500-6622

両会の動き

◆ 消防実務講習会（予防業務研究会）を開催

一般財団法人全国消防協会東近畿地区支部

一般財団法人全国消防協会東近畿地区支部では、令和7年11月28日（金）、和歌山県和歌山市において、消防実務講習会（予防業務研究会）を開催しました。

講習会では、総務省消防庁予防課の明田設備専門官から「最近の予防行政の動向」について、違反是正推進に係わる東近畿支部担当弁護士の荻野弁護士から「弁護士への相談事例」についてご講義いただきました。

当日は、聴講者からの積極的な質問もあり、大変有意義な講習会となりました。

今後も、予防業務の円滑化を図るため、さまざまな取り組みを行ってまいります。



【講習会の様子】

◆ 佐賀県内合同消防訓練（実動訓練）を実施

佐賀県消防長会（佐賀）

佐賀県消防長会では、令和7年11月19日（水）、20日（木）の2日間、佐賀県消防学校において、佐賀県内合同消防訓練（実動訓練）を実施しました。

この訓練は、県内5消防本部が「佐賀県常備消防相互応援協定」に基づき、連絡・情報共有体制を確認するとともに、消防活動における連携強化を図ることを目的として、「図上訓練」と「実動訓練」を毎年交互に実施しているものです。

当日は、13隊計58人の隊員が参加し、「佐賀市のメッキ工場においてBC災害が発生し、複数の従業員が倒れている。」との想定で、応援要請訓練と実動訓練を行い、県内消防本部の連絡体制・情報共有体制を再確認したほか、災害現場における指揮活動、救急活動、救助活動の連携強化を図ることができました。

今後も、大規模災害に備えるため、県内消防本部が一つとなり、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

消防本部の動き

訓 練

◆ 関係機関と合同で夜間急患搬送訓練を実施

うるま市消防本部（沖縄）

うるま市消防本部では、令和7年11月17日（月）、当市唯一の有人離島である津堅島において、津堅診療所、中城海上保安部、沖縄県消防指令センター、うるま市消防団と合同で、夜間急患搬送訓練を実施しました。

この訓練は、夜間に急患が発生した際に、中城海上保安部の巡視艇を活用して、沖縄本島の高次医療機関へ迅速かつ安全に救急搬送することを目的として実施したものです。

当日は、夜間に巡視艇の視認性を確保するため、消防団が照明を活用した入港を支援する訓練を行ったほか、救急隊と津堅診療所の看護師との引き継ぎ要領など、安全に傷病者を巡視艇内に搬送する体制を確認しました。

今後も、関係機関と連携を強化するとともに、救急搬送体制の構築に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 「警防技術発表会」を実施

一宮市消防本部（愛知）

一宮市消防本部では、令和7年11月18日（火）、19日（水）の2日間、尾西消防署において、「警防技術発表会」を実施しました。

この発表会は、現場到着した中隊長もしくは中隊副長が局面指揮者として、指揮命令により活動統制を図るとともに、円滑な消防活動を遂行することを目的として実施したものです。

両日は、消防隊計24隊が参加し、火災対応訓練において消防隊3隊が連携して活動し、訓練後には、隊員間の意見交換を行い、統括者などから講評をいただきました。

この発表会を通じて、消防活動体制の統一化と連携強化を図るとともに、消防活動に関する意識を向上することができました。

今後も、住民の安全・安心な暮らしを守るため、さらなる警防技術の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】



【意見交換の様子】

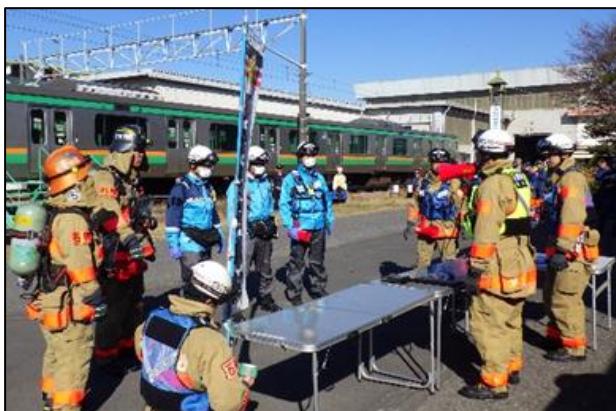
◆ 「栃木県広域消防応援等計画南東ブロック合同訓練」を実施

石橋地区消防組合消防本部（栃木）

石橋地区消防組合消防本部では、令和7年11月21日（金）、東日本旅客鉄道株式会社小山車両センターにご協力いただき、小山市消防本部および芳賀地区広域行政事務組合消防本部と合同で、「栃木県広域消防応援等計画南東ブロック合同訓練」を実施しました。

当日は、「列車内への放火により多数の傷病者が発生した。」との想定で、鉄道事業者との連携要領、広域応援隊の受け入れ要領、トリアージ等の活動手順を再確認しました。

今後も、関係機関との連携強化を図るとともに、災害対応能力のさらなる向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ ロープレスキュー大会「3rd Giallo Cup 2025 NABARI Edition」に参加

名張市消防本部（三重）

名張市消防本部では、令和7年11月22日（土）、23日（日）の2日間、ロープレスキュー大会「3rd Giallo Cup 2025 NABARI Edition」に参加しました。

この大会は、ロープアクセスジャッロ株式会社が主催で、22日に個人戦、23日に団体戦を実施し、当消防本部が施設提供や運営の補助を行ったものです。

当消防本部の特命救助チームの隊員7人が出場した団体戦では、全国から計16チームが参加し、訓練棟や市役所庁舎などを活用した6つの想定訓練を行い、各チームが限られた時間の中で要救助者の救出に向け、技術を競い合い、白熱した大会となりました。

なお、当消防本部では、クラウドファンディングにより資機材の更新と新たな資機材を導入し、これらの資機材を活用して、本大会に初めて挑みました。

今後も、さまざまな災害に迅速かつ的確に対応できるよう、職員一丸となって訓練を行うとともに、消防体制の強化に取り組んでまいります。



【訓練の様子】



【団体戦出場チームの集合写真】

◆ 3消防本部が合同訓練を実施

石巻地区広域行政事務組合消防本部（宮城）

石巻地区広域行政事務組合消防本部では、令和7年11月26日（水）、当消防本部訓練場において、「宮城県東部消防連携・協力実施計画」に基づき、登米市消防本部および気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部と合同訓練を実施しました。

この訓練は、令和8年4月1日から3消防本部による共同指令センターの運用開始を迎えるに当たり、3消防本部間の受援体制の構築と連携強化を図るとともに、応援体制を強化することを目的として実施したものです。

当日は、各消防本部から指揮隊と消火隊のほか、当消防本部からは、はしご隊、水槽隊、ドローン隊も参加し、「共同住宅より出火後、北側の林野に延焼拡大しており、屋上に2人と3階ベランダに1人の要救助者がいる。」との想定で訓練を行いました。

この訓練を通じて、3消防本部間の連携強化と災害対応能力の向上を図ることができました。



【訓練の様子】



◆ 関係機関と合同で「令和7年度山林火災対応訓練」を実施

座間市消防本部（神奈川）

座間市消防本部では、令和7年1月26日（水）、県立座間谷戸山公園において、神奈川県警察本部座間警察署および座間市役所危機管理課と合同で、「令和7年度山林火災対応訓練」を実施しました。

この訓練は、近年、全国的に大規模な山林火災が相次いだことを受け、山林火災発生時の迅速かつ円滑な初動体制の確立と対応力を強化することを目的として実施したものです。

当日は、山林火災の発生時における関係機関との連携要領や初動対応要領を再確認しました。



【訓練の様子】

◆ 「列車内殺傷事象等対応訓練」を実施

羽咋郡市広域圏事務組合消防本部（石川）

羽咋郡市広域圏事務組合消防本部では、令和7年1月26日（水）、JR羽咋駅構内（石川県羽咋市川原町）において、西日本旅客鉄道株式会社七尾鉄道部、石川県警察本部羽咋警察署、公立羽咋病院と合同で、「列車内殺傷事象等対応訓練」を実施しました。

この訓練は、列車内における突発的な殺傷事案の発生に備えるため、初動対応力を強化とともに、関係機関との連携体制の確認と強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、「刃物を持った乗客が電車内で暴れ、複数の負傷者が発生した。」との想定で、現場指揮所の設置・運用、現場救護所の設置、トリアージ、応急処置、搬送順位の決定など、一連の活動を関係機関と一体となって迅速かつ的確に行い、実践的な訓練となりました。

今後も、関係機関との連携を一層強化するとともに、公共交通機関における突発事案への対応力の向上を図り、地域の安全・安心の確保に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆隣接する消防本部と合同で山岳救助訓練を実施

久万高原町消防本部（愛媛）

久万高原町消防本部では、令和7年11月26日（水）、当町山林内において、隣接する高知県の高岡北広域町村事務組合消防本部と合同で、山岳救助訓練を実施しました。

この訓練は、山岳地における遭難・転落・滑落事故などの救助活動に備えるため、他消防本部との連携強化と山岳救助活動に必要な技術・知識の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、ブラインド形式で想定訓練を行った後、事後検証と意見交換を実施し、消防本部間で救助の知識・技術や保有資器材について情報共有するとともに、相互理解を深めることができました。

今後も、訓練を継続し、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆本部運営訓練を実施

志太広域事務組合志太消防本部（静岡）

志太広域事務組合志太消防本部では、令和7年11月28日（金）、今年度3回目となる本部運営訓練を実施しました。

この訓練は、近年、林野火災の頻発化および大規模化が懸念されていることから、林野火災における初動段階での指揮・連携体制を的確に運用することを目的として実施したものです。

当日は、本部運営および静岡県消防防災航空隊や藤枝市消防団との連携を重点的に確認しました。

今後も、関係機関との連携強化を図るとともに、より強固な災害対応体制の構築に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 「個人防護具（PPE）着脱訓練」を実施

富岡甘楽広域消防本部（群馬）

富岡甘楽広域消防本部では、令和7年12月2日（火）、富岡保健福祉事務所と新たに締結した「感染症患者等の移送に関する協定」に基づき、「個人防護具（PPE）着脱訓練」を実施しました。

この訓練は、コロナ禍の収束とC O V I D – 1 9 の第5類移行から2年が経過し、PPE強化体制を経験していない職員が増えたことから、PPE着脱要領を再確認することを目的として、同事務所と合同で実施したものです。

この訓練を通じて、感染を防止するために、着衣よりも脱衣の方が重要であることを改めて認識することができました。

今後も、未知なる感染症のまん延に備えるため、定期的な訓練に取り組んでまいります。



【訓練の様子】

◆ 交通誘導対応訓練を実施

羽島市消防本部（岐阜）

羽島市消防本部では、令和7年12月3日（水）、中日本高速道路株式会社にご協力いただき、交通誘導対応訓練を実施しました。

この訓練は、災害現場におけるヒヤリハット事例を基に、高速道路において活動する隊員の受傷事故の防止と安全性の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、同社の職員を講師としてお招きし、交通誘導の基礎知識や危険性について、実際の現場における事故事例を交えながらご講義いただきました。

また、実技訓練では、車線規制方法や規制機材の視認性を確認し、新たな安全確保要領を得ることができ、大変有意義な訓練となりました。

今後も、他機関との合同訓練を継続し、安全・確実・迅速な消防活動に努めてまいります。



【講義の様子】

【実技訓練の様子】

研修

◆ 広報写真教養を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁麻布消防署では、令和7年11月19日（水）、広報写真教養を実施しました。

当日は、毎日新聞社の報道カメラマンとして最前線でご活躍された、株式会社近代消防社の松田嘉徳氏を講師としてお招きし、消防広報における写真の重要性と災害現場や各種イベントにおいて効果的な写真を撮るための撮影要領についてご講義いただきました。

また、ポンプ隊の訓練を実災害に見立てた実践的な撮影会では、撮影要領について実技指導をいただき、撮影技術の向上を図ることができました。

参加した職員から、「今回学んだ構図の考え方やテクニックを早く災害現場や消防広報の場で生かしたいです。」との声を聞くことができました。

今後も、広報写真を通じて消防のファンを増やせるよう、「伝わる広報」を目指し、広報活動に取り組んでまいります。



【広報写真教養の様子】

◆ 「DNARプロトコール勉強会」を開催

中津川市消防本部（岐阜）

中津川市消防本部では、令和7年11月19日（水）、敬愛会シクラメン老人ホームと合同で、「DNARプロトコール勉強会」を開催しました。

この勉強会は、以前、管轄区域内の老人福祉施設にチラシ配りに伺ったことを契機に、老人福祉施設職員に対し、救急隊のDNARプロトコールを周知することを目的として、初めて開催したものです。

当日は、同施設職員のほか、虹いろ在宅ケアクリニックの鷺津医師、近隣医療機関の看護師、当市役所高齢介護課職員など計40人が参加し、ACPとDNARに関する座学を行いました。

また、「訪問介護先でDNAR書面が提示された。」との想定で連携訓練を行った後、同医師から講評をいただき、緊張感や笑いありの和やかな雰囲気で、大変有意義な勉強会となりました。



【想定訓練の様子】



【勉強会後の記念撮影】

◆ 「火災調査研修会」を実施

大洲地区広域消防事務組合消防本部（愛媛）

大洲地区広域消防事務組合消防本部では、令和7年11月18日（火）、19日（水）の2日間、火災調査員を対象とした、「火災調査研修会」を実施しました。

この研修会は、火災調査員として欠かせない知識や技能を習得するとともに、火災調査に関する共通認識を深めることを目的として実施したものです。

当日は、管内で発生した建物火災事例に対して、実際に携わった火災調査員が振り返りを行い、火災調査における着眼点や出火原因の考察方法などについて共通認識を深めたほか、北川式ガス採取器を活用した試料ガスの採取測定方法などについても再確認しました。

今後も、火災調査員の火災調査技術の向上を図るとともに、火災調査体制の構築に努めてまいります。



【研修会の様子】

◆ 「県南3消防本部女性消防職員懇談会」を実施

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部（秋田）

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部では、令和7年11月21日（金）、「県南3消防本部女性消防職員懇談会」を実施しました。

当日は、県南地区2消防本部（大曲仙北広域市町村圏組合消防本部、横手市消防本部）の女性消防職員と当消防本部職員が参加し、本県出身で埼玉県南西部消防局の北島素子氏を講師としてお招きして、「男女問わず活躍できる職場」をテーマに、女性消防職員を取り巻く歴史、女性活躍推進の意義と重要な柱（意識改革・適正配置・職域拡大）、優秀な人材確保のための体制整備などについて分かりやすくご講義いただきました。

今後は、本懇談会で学んだことを生かし、職員一丸となって働きやすい職場環境の構築に努めてまいります。



【懇談会の様子】

【懇談会後の記念撮影】

◆ 「林野火災に関する研修会及び情報交換会」を実施

水戸市消防局（茨城）

水戸市消防局では、令和7年1月27日（木）、消防相互応援協定を締結している芳賀地区広域行政事務組合消防本部（栃木県）及び県内3消防本部（筑西広域市町村圏事務組合、笠間市、常陸大宮市）と合同で、「林野火災に関する研修会及び情報交換会」を実施しました。

当日は、第一部に、総務省消防庁消防大学校消防研究センターの職員を講師としてお招きし、岩手県大船渡市で発生した林野火災の概要などについてご講義いただき、第二部では、消防事務委託を受けている城里町役場及び芳賀地区広域行政事務組合消防本部と相互に管轄する林野地図を活用し、進入経路、地水利、通信手段などに関する情報交換会を実施しました。

この研修会と交換会を通じて、消防活動における共通認識を再確認し、大規模林野火災発生時の初動態勢の確立につなげることができました。

今後は、関係機関とのさらなる連携強化を図るとともに、大規模林野火災に対応できるよう万全を期してまいります。



【研修会の様子】



【情報交換会の様子】

◆ 「火災調査研修会」を実施

筑西広域市町村圏事務組合消防本部（茨城）

筑西広域市町村圏事務組合消防本部では、令和7年1月28日（金）、「火災調査研修会」を実施しました。

この研修会は、火災調査能力の向上を図るとともに、火災調査事務を適正に運用すること目的として実施したものです。

当日は、午前の部に、当消防本部の職員が、主任調査員を対象とした、火災調査規程の一部改正に伴う事務処理手順の確認と調査書類の作成要領について講義を行い、記載様式の統一事項や根拠を明確にした客観的な記述の重要性について学びました。

また、午後の部では、近隣消防本部の職員も参加し、総務省消防庁消防大学校消防研究センター上席主任調査官の笠原正行氏を講師としてお招きし、「消防研究センターが行う火災調査」と「岩手県大船渡市で発生した林野火災」をテーマに、原因推定手法、現場活動時の着眼点、留意事項について、実際の事例を基にご講義いただきました。

今後も、職員の専門知識と実務能力の向上を図るとともに、地域住民の安全確保に一層貢献してまいります。



【研修会の様子】



◆ 「メンタルヘルス・惨事ストレス対策研修会」を実施

釜石大槌地区行政事務組合消防本部（岩手）

釜石大槌地区行政事務組合消防本部では、令和7年12月2日（火）、一般財団法人地方公務員安全衛生推進協会にご協力いただき、「メンタルヘルス・惨事ストレス対策研修会」を実施しました。

当日は、職員93人が参加し、武蔵野大学心理臨床センターの笹川真紀子氏を講師としてお招きし、隊長や隊員の年齢に関わらず、災害現場で受ける惨事ストレスに反応を示すことや、それらを共有する一次ミーティングの実践方法について、ご講義いただきました。

この研修会を通じて、メンタルヘルスに関する基礎知識、消防職員特有のストレス要因、傾聴の目的と技術などを学ぶことができ、大小さまざまなストレスを抱えながら活動している仲間同士で助け合うことの大切さを再認識する研修会となりました。

今後は、思いやりがあり、働きやすい職場環境づくりに取り組んでまいります。



【研修会の様子】

その他の

◆ 特別賞受賞者に表彰状を贈呈

薩摩川内市消防局（鹿児島）

薩摩川内市消防局では、令和7年11月12日（水）、18日（火）の2日間、当市防火管理協会と共に募集した、「防火ポスター・図画作品」の消防局長賞受賞者と防火管理協会長賞受賞者に対し、表彰状を贈呈しました。

この防火ポスターと図画作品は、子供たちの防火・防災意識の育成と高揚を図るとともに、家庭から地域へ防火・防災の輪を広げることを目的として募集したものです。

各受賞作品は、市内の園児および児童から応募された356作品から特別賞を含む60作品が選ばれ、当市の玄関口であるJR川内駅に展示しました。



【消防局長賞贈呈後の記念撮影】



【防火管理協会長賞贈呈後の記念撮影】

◆ 消防協力者に消防長感謝状を贈呈

海老名市消防本部（神奈川）

海老名市消防本部では、令和7年11月19日（水）、消防協力者の2人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年9月23日（火）に発生した火災において、ごみ収集業務中の座間市くらし安全部クリーンセンター職員である消防協力者の2人が、当市公園内の木製ベンチが燃えているのを見た後、119番通報と公園の水道水を活用し、初期消火を行ったものです。

消防協力者2人の的確な状況判断と迅速かつ冷静な行動により、火災による被害を最小限に留めることができました。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 人命救助功労者に消防長から感謝状を贈呈

四国中央市消防本部（愛媛）

四国中央市消防本部では、令和7年11月25日（火）、人命救助功労者の2人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年8月29日（金）、市内飲食店において心肺停止となった傷病者に対し、店内にいた人命救助功労者の2人が連携して、的確な胸骨圧迫を行い、救急隊に引き継いだものです。

傷病者は、救急搬送中に心拍および自発呼吸が再開し、搬送先の病院での治療入院後、意識清明で会話可能な状態まで回復し、社会復帰されました。

人命救助功労者2人の迅速な行動は、「救命の連鎖」として傷病者の救命に多大な効果をもたらしたものであり、市民の模範として高く評価されるものです。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

大野市消防本部（福井）

大野市消防本部では、令和7年11月28日（金）、消防協力者の2人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年10月21日（火）、管内で発生した建物火災において、消防協力者の2人が火災を早期に発見し、協力して迅速な119番通報と初期消火を行ったことで、延焼拡大を防止したものです。

消防協力者2人の迅速かつ適切な判断と勇気ある行動に、感謝と敬意を表します。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 「第30回直鞍防火少年・少女剣道大会」を実施

直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部（福岡）

直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部では、令和7年11月16日（日）、「第30回直鞍防火少年・少女剣道大会」を開催しました。

この大会は、スポーツの素晴らしさや楽しさにふれながら、心身とも健全な育成を図るとともに、児童同士の親睦・交流と消防業務への理解を深めていただくことを目的として開催しているものです。

当日は、7つの道場から42人の小学生が参加し、日頃の練習の成果を発揮しながら、礼節や仲間を思いやる心を学ぶ姿を見ることができ、活気に満ちた大会となりました。

また、会場には、火災予防の大切さを伝えるポスターを掲示し、児童だけではなく保護者にも、防火・防災への意識の向上を図る良い機会となりました。

今後も、さまざまな催しを通じて、防火・防災に係る啓発活動を継続し、地域全体で火災・災害のない安全なまちづくりに取り組んでまいります。



【大会の様子】

◆ 「四日市市南消防署オープンフェスタ」を開催

四日市市消防本部（三重）

四日市市消防本部では、令和7年1月22日（土）、南消防署において、「四日市市南消防署オープンフェスタ」を開催しました。

このイベントは、市民の防火防災意識の向上を図ることを目的として開催したものです。

当日は、はしご車搭乗体験や消防車・救急車の乗車体験コーナーなどを設け、はしご車搭乗体験では高所からの眺望を楽しむ子どもたちの姿を見ることがありました。

また、消防団、警察、自衛隊、海上保安庁、市危機管理課、防災部など多くの関係機関が参加し、特別ゲストとして、三重県警察本部の広報犬「豆助くん」が登場するなど、関係機関と連携した広報活動を行い、さまざまな視点から防火防災について学ぶことができる大変有意義なイベントとなりました。



【イベントの様子】

◆ 「令和7年度都城市消防局職員家族参観」を実施

都城市消防局（宮崎）

都城市消防局では、令和7年1月22日（土）、職員の家族を対象とした、「令和7年度都城市消防局職員家族参観」を実施しました。

このイベントは、職員の普段の仕事を見ていただくことで、家庭と職場のつながりを深めるとともに、より良い職場環境を創造することを目的として実施したものです。

当日は、参加したご家族の職員が案内役となり、庁舎や車両などの見学を行ったほか、火災出動などの各体験を実施しました。

参加したご家族から、「お父さんがかっこよかったです。」、「市の安全のために頑張っていると改めて実感し、感謝しました。」などの声を聞くことができました。

今後も、このような行事を継続し、働きやすい職場づくりの推進に努めてまいります。



【イベントの様子】



【記念撮影の様子】

◆ 「消防フェア2025」を開催

各務原市消防本部（岐阜）

各務原市消防本部では、令和7年11月23日（日）、「国営木曽三川公園かさだ広場」特設会場において、「消防フェア2025」を開催しました。

このイベントは、当消防本部の魅力を広く発信するとともに、市民の皆さんに消防業務への理解を深めていただくことを目的として開催したものです。

当日は、多くの方にご来場いただき、アイドルグループ「OS☆U」のメンバーで、当市出身者である秋原かなみ氏に一日消防長を委嘱し、当消防本部のPR活動や消防団員の募集啓発活動などを行っていただきました。

また、職員による救急活動や放水活動を披露したほか、ミニ消防車体験、放水体験、ロープ渡り体験、消火器取り扱い体験、煙体験、応急手当体験などのコーナーを設け、消防の魅力を発信することができました。

今後も、さまざまなイベントを通じて、市民の皆さんの防火意識の向上を図るとともに、消防業務や消防団業務の魅力を発信してまいります。



【一日消防長委嘱状交付の様子】



【イベントの様子】

◆ 「津市消防フェスタ～あつまれ♪みらいの消防団員&津市消防音楽隊創立50周年記念コンサート～」を開催

津市消防本部（三重）

津市消防本部では、令和7年11月24日（月）、三重県総合文化センターにおいて、消防団の力向上モデル事業の一環として、「津市消防フェスタ～あつまれ♪みらいの消防団員&津市消防音楽隊創立50周年記念コンサート～」を開催しました。

このイベントは、消防団の魅力を発信するとともに、消防団への入団を促進することを目的として開催したものです。

当日は、幅広い世代をつなぐ「音楽」をキーワードに、女性消防団員による寸劇、学生機能別団員と当消防本部消防音楽隊の合同演奏を行ったほか、消防団の活動を紹介するコーナーなどを設け、消防団への入団を促進する広報を行いました。

また、消防車両の展示や救急法の体験コーナーなどを設け、常備消防の取り組みについても広報しました。



【合同演奏の様子】



【屋外イベントの様子】

◆ 「令和7年度西置賜行政組合消防職員意見発表会」を開催

西置賜行政組合消防本部（山形）

西置賜行政組合消防本部では、令和7年11月25日（火）、長井市役所3階「議場」において、「令和7年度西置賜行政組合消防職員意見発表会」を開催しました。

これは、市政全般にわたる重要事項が決定される神聖な「議場」において、職員が日頃の業務で得た課題意識や改善提案を堂々と発信する、大変意義深い発表会となります。

当日は、地域防災力の強化、住民サービスの向上、職員の安全確保などについて、職員が多角的な視点から具体的な提案を発表し、重要な節目として記憶される発表会となりました。

初の「議場」開催となった発表会は、職員一人一人の高い志と専門性を象徴するものであり、今後の施策検討にも生かされるものと期待されます。



【発表会の様子】



【表彰の様子】

◆ IP無線アプリ「Buddycom」を主連絡手段として運用開始した動画を公開

茨木市消防本部（大阪）

茨木市消防本部では、令和7年11月25日（火）、IP無線アプリ「Buddycom」を主連絡手段として運用を開始したことに伴い、当市公式YouTubeチャンネルに動画を公開しました。

この動画は、災害活動時において大きな役割を担うことが期待される、最新のICT技術を取り入れた当消防本部の取り組みを周知することを目的として公開したものです。

この運用は、管内の山間部や一部地域で、消防救急デジタル無線の不感地域があり、情報共有が困難であることから、改善対策として、各部隊に配置した「公共安全モバイルシステム」の災害時優先電話に登録したスマートフォンで同アプリを活用することにより、災害時にもつながりやすく、スムーズな情報共有を可能としました。

今後も、最新のICT技術を活用し、市民28万人の安全・安心を守る体制を構築するとともに、他機関との連携強化に努めてまいります。



【動画サムネイル画像】



【動画二次元コード】

◆ 「乳幼児のためのママ・パパ救急講習」を初開催

菊川市消防本部（静岡）

菊川市消防本部では、令和7年1月26日（水）、菊川市女性消防団員にご協力いただき、3歳児未満の子どもを持つ保護者を対象とした、「乳幼児のためのママ・パパ救急講習」を初めて実施しました。

当日は、女性消防団員が手遊び歌で会場を和ませた後、当消防本部の職員と同団員が、乳幼児の応急手当を学びたい多くの保護者に対し、乳幼児の心肺蘇生法や気道異物除去法について指導し、応急手当の必要性を周知することができました。

参加者から、「いざというときに対応できるか不安だったため学べて良かったです。」、「子どもの口に入ってしまう物は手の届く場所に置かないように気をつけたいです。」との感想を聞くことができました。

今後も、応急手当の普及啓発に努めてまいります。



【講習の様子】

◆ 感震ブレーカー展示品を制作

石狩北部地区消防事務組合消防本部（北海道）

石狩北部地区消防事務組合消防本部では、令和7年12月1日（月）、感震ブレーカー展示品を制作しました。

この展示品は、感震ブレーカーを普及推進することを目的として、製造メーカー2社からご提供いただいた感震ブレーカーなどに、一部自主制作した展示品を組み合わせ、広報用として制作したものです。

今後は、本展示品を火災予防啓発活動などに活用してまいります。



【制作した展示品】

国等の動き

報道発表

◆ TVアニメ『火喰鳥 羽州ぼろ鳶組』とタイアップした消防団員PRポスターの配布

(令和7年12月3日、消防庁)

消防庁では、令和8年1月11日（日）よりCBC／TBS系列にて放送開始のTVアニメ『火喰鳥 羽州ぼろ鳶組』とタイアップした、消防団員PRポスターを作成し、全国の消防本部等に配付します。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/20251203soumu.pdf>) に掲載されています。

<問合せ先>

消防庁総務課

向山広報官、神田係長、池内事務官、中村事務官

TEL : 03-5253-7521 FAX : 03-5253-7531

◆ 弹道ミサイルを想定した住民避難訓練の実施

(令和7年12月5日、内閣官房、消防庁)

国、和歌山県及び同県御坊市が、共同で、弾道ミサイルを想定した住民避難訓練を実施することが、以下のとおり決定しました。

また、今年度は、本訓練を含め、31件の訓練を実施する予定としておりますので、併せてお知らせします。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/251205_kokuun_1.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】

内閣官房副長官補（事態対処・危機管理担当）付

内閣参事官 渡 真 利 諭

参事官補佐 真保 智光、阿部 修也

TEL 03-3581-8485

消防庁国民保護・防災部防災課国民保護運用室

国民保護運用室長 山下 義弘

課長補佐 関本 徹

係長 山本 準也

TEL 03-5253-7551

情報提供

◆ 「第34回全国救急隊員シンポジウム」の開催について

熊本市消防局
一般財団法人救急振興財団

熊本市消防局、一般財団法人救急振興財団では、令和8年1月22日（木）、23日（金）の2日間、熊本県熊本市において、下記のとおり第34回全国救急隊員シンポジウムを開催いたします。

記

1 開催日時

令和8年1月22日（木）9時30分～17時45分（開場 8時30分～／受付8：45～）
令和8年1月23日（金）9時00分～13時00分（開場 8時20分～／受付8：30～）

2 現地開催会場

熊本城ホール（熊本県熊本市中央区桜町3-40）

3 開催方式

現地会場にて全てのプログラムを開催し、開催後に各プログラム（スキルトレーニング、スキルセミナー、市民公開講座を除く。）をアーカイブ配信いたします。

4 メインテーマ

「REVIVAL—リバイバル—」～救急隊員の新たな未来像を熊本から～

5 プログラム

【1月22日（木）】

- (1) 特別講演「REVIVAL—リバイバル—」～救急隊のこれまでの歩み～
- (2) 教育講演1 「救急救命処置のさらなる拡大と救急業務」～エピペンの対象拡大に関する実証事業と新たな展開～
- (3) 教育講演2 「研究の結果から導けるもの」～救急隊の視点から～
- (4) 教育講演3 「JRCガイドライン2025」～知って得するトピックス～
- (5) シンポジウム1 「DNARを考える」～救急現場における現状と課題～
- (6) シンポジウム2 「救急隊員の世代別アプローチ」～学び合い、高め合う新しい教育体制～
- (7) シンポジウム3 「バイスタンダーに対するサポート」～地域でのメンタルサポートを含めた応急手当実施者へのサポートについて～
- (8) シンポジウム4 「救急隊の働き方改革」～救急隊員の労務管理について～
- (9) パネルディスカッション1 「大規模災害」～課題と取組みを共有する～
- (10) パネルディスカッション2 「救急活動とDX」～救急活動の効率化、円滑化～
- (11) パネルディスカッション3 「ライフステージに寄り添う現場改革」～働きやすい職場を目指して～
- (12) パネルディスカッション4 「マスギャザリング災害」～安全な集いを守るために～
- (13) スキルトレーニング1 「ハイパフォーマンスCPR」～CPRの質を向上させる～
- (14) スキルトレーニング2 「臨床思考トレーニング」～生涯教育を身近に シナリオトレーニングのすすめ～
- (15) スキルセミナー1 「救急脳のつくり方」～レッドフラッグを見逃すな～
- (16) 市民公開講座1 「くまSKIP」～小児事故予防救急 小さな命を守る～
- (17) 一般発表1 「優秀演題発表」～優秀演題に学ぶ～
- (18) 一般発表2～21

【1月23日（金）】

- (1) 教育講演4 「救急現場と生命倫理」～いのちの終わりにどう向き合うか～
- (2) シンポジウム5 「救急需要対策」～備えよ。守るべき未来のために～
- (3) シンポジウム6 「救急出動体制の強化」～広がる活動の可能性～
- (4) パネルディスカッション5 「指導救命士」～指導救命士の使命と実践～
- (5) パネルディスカッション6 「通信指令員教育」～教育の平準化～
- (6) スキルトレーニング3 「ミニKEMAT」～ピットホールを見抜け～
- (7) スキルセミナー2 「ミニPPST」～救急隊員向け精神科救急対応を学べ～

- (8) 市民公開講座2「こども救命士になろう！」～興味を持って未来に繋げ～
- (9) 総合討論「REVIVAL—リバイバルー」～Professional Autonomy
「救急隊員の新たな未来像を熊本から」～
- (10) 一般発表22～31

6 その他

- (1) 参加に係る費用（参加費、資料代など）は徴収いたしません。
- (2) 参加につきましては、完全事前登録制といたします。第34回全国救急隊員シンポジウムホームページからご登録ください。
- (3) プログラムの内容は、追加・変更などが生じることがあります。第34回全国救急隊員シンポジウム専用ホームページにてシンポジウムに関する最新の情報を掲載し、随時更新しておりますので、是非ご覧ください。



[\(https://34kumamoto99sympo.com/\)](https://34kumamoto99sympo.com/)

【お問合せ先】

熊本市消防局 警防部救急課 〒862-0971 熊本県熊本市中央区大江3丁目1番3号 TEL:096-363-2360	一般財団法人救急振興財団 事務局企画調査課 〒192-0364 東京都八王子市南大沢4丁目6番地 TEL:042-675-9931
---	---

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0716）1ページ、機関誌「ほのお」2025年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL : 03-4500-6622 機関誌「ほのお」担当：企画課 中西

原稿データは、kikakoho@fca.j.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

TEL : 03-4500-6622 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 中西

原稿データは、honoo@ffa.j-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
(貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。)
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者からメールを返信させていただきます。

TEL : 03-4500-6622 「週間情報」担当：企画課 吉田

原稿データは、weekly@fcaj.gr.jpに送信願います。